

家などと呼んでの学生主催の講演会等ありました。又、困ったところもありました。陽気でよくパーティーをします。パーティーの後の紙コップの後始末をせず、そのままなので質問したところ、何と掃除をする雇われた人の仕事を奪うことになるのではないかと返事もありました。また台風が来るというので、ビールを買っている学生に質問したところ、この国では台風は怖いけれどお祭りみたいなもので、そういう時パーティーやるということでした。米国で、日本がどのように思われているかについては、日本は金持ちだということでした。まず、ヒューストンの大工さんのお宅で英語の勉強をさせて頂いたとき、週末で奥さんと二人で旅行し、子供はボートをもって水上スキーにゆく、これがものすごくぜいたくではないのです。比べると、日本は円高で給料も高いが、実際の生活をみると米国ほど金持ちではないと感じました。ところが、新聞、雑誌、テレビなどは、日本は金持ちの国といっているのに、日本は金持ちの国と思っているのです。私は、本当に金持ちとは、どういうことかと疑問に感じました。豊かさの中におぼれている部分もありました。学生食堂は、カード制なので、一回入るといくら食べてもよいのですが、それをとって、何も手をつけずに残して返してしまう人が本当に多かったのには本当にびっくりしました。ロータリーの人、今の米国の若い人は何でも捨ててしまう、これは悲しいことだと言っておられました。日本も豊かになりましたが、そういう所だけは見習わなくていいなあと感じました。日本はハイテク産業、コンピュータの国としても知られています。昔のエス・エフ小説に出てくるようなそういう国だと思っているところもあるようです。私の見た所では、米国の方が使っているようでした。例えば、高校の物理の授業でグラフを書くのにわざわざコンピュータを使わせるところもあります。図書館の本を捜すのに大学にもコンピュータを利用していました。アメリカは大きい国です。大きいから世間は狭いと米国人はよく言います。自分の国は大きいから外のことまで目が行かない。しかし、だまっていればわからないのですが、私は少しでも米国のことを日本へ、日本のことを米国に知らせる機会をつくって頂きましたことを有り難く思っております。米国の景気もよくなっています。失業率も下がっています。物価は本当に安い。韓国、中国、香港製は安い。日本製は高級品になっていて、安物で日本製は見たことがありませんでした。価格競争なので、サービス面になると悪いです。安くすれば、売れる。いまだに安かろう悪かろうがまかり通るところもありました。本当に、たくさん見て歩いていろんなことを比べることができませでした。米国は大きい国ですから、私の見たものがすべてでないことは、地元の方から何度も言われ、私もそうであると感じましたが、その一部でも皆様にお伝えできたことを、本当に留学させて頂いたことを喜んでます。本当に有り難うございました。

1月3日例会： 休会（祝祭日の為）

1月10日例会： クラブフォーラム プログラム委員会1～2分 新年乾盃

1月17日例会： 会員卓話 米山忠俊君「私の視点」



三条北ロータリークラブ週報

PUT LIFE INTO ROTARY — YOUR LIFE

ロータリーに活力を—あなたの活力を

国際ロータリー会長 ロイス・アビー 第256地区ガバナー 榎内悌三郎

会長／梨本清一

幹事／今井克義

SAA／米山忠俊

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

例会日
1988. 12 . 27
累計 No 105
当年 No 26

行事： 卓話 帰国報告 ロータリー財団奨学生鈴木岳詩君

出席： 本日の出席 41名中36名

先週の出席率 41名中38名 92.68%

先週のメークアップ： 12月26日 三条南RCへ 山上茂夫君

ゲスト： ロータリー財団奨学生鈴木岳詩君

見学者： 新会員入会予定者 内藤 修君

ビジター： 三条RCより 堀川政雄君 榎本 勝君 内山辰策君 斎藤権八君

会長挨拶： 梨本清一

月日の経つのは早いもので、やがて昭和63年も暮れようとしております。ということは、ロータリー一年度に置き換えますと、これで上期が終了し、年明けと共に下期を迎えることになるわけがあります。そして、クラブ会長の心境といたしましては、50%の経過ではなく、75%位経過した心境で、年明けと共に平松君の責任が加速度的に重くなって行き、私の方はこれと反比例してますますロータリーを楽しむ心境に変化していくのであります。さて、人は何かの節目々々にさしかかりますと、ふと立ち止り、これまで歩いて来た道を振りかえり、そしてこれから歩もうとする人生を様々に想定致します。それが年の暮れであり、新年であるようであります。皆様方の63年は如何がございましたか？お仕事のこと、ご家庭でのこと、そしてあなた自身のこと。「よし、今年はこんな年にしよう」と年頭初想定していた通り、うまい具合にことは運びましたか。ある部分は予期した以上に上手く行ったとしても、またある部分で予想もしなかった出来事が起きて、苦しんだり、悲しんだりしたことはなかったでしょうか。それが人生というものであります。だからこそ、人生は楽しいのだ、と言えるのです。すべて自分の思い通りにことが運んだら、すべて自分の立てた計画通りに完成されるものと保証されている人生だとしたら、こんな味気ない殺風景な人生はないと私は思うのです。トラブルがあり、ハプニングがあり、挫折があり、そして苦悩に直面する度に、人はそれを自らのエネルギーとして人生を歩き続けます。そして、それが例え初めに計画

していた設計図と全く違った方向に走り出していたとしても、それがあなた自身の人生なのです。それが、この僕自身の人生なのです。計画通りには決っていない人生、決って保証されていない人生、そして、全然わからない人生、だからこそ人生は楽しいのだ、と僕は思うのです。これから卓話を載く鈴木岳詩君は、半年間アメリカで沢山のカルチャーショックを受け、沢山の勉強をして参りました。ある部分は彼の思い通りにならなかったところもあったかも知れませんが、それらがやがて彼の血となり肉となり、いまは彼自身さえわからない彼の人生をつくり上げていくエネルギーとなるのであります。彼の未知なる人生に、大いに声援を送っていただきたいと思います。そして我々自身も、お互いに声援を送り合いながら、未知なる人生の、新しい年を楽しく迎えたいものと思います。

幹事報告： 今井幹事

- ◇第256地区年次大会俳句会より句集の恵送がありました。
- ◇ガバナー事務所より第256地区年次大会報告書の恵送がありました。
- ◇十日町北RCより10月23日に行われました20周年記念式典の記念誌が恵送されてきています。出席された方は一冊ずつお持ち帰り下さい。
- ◇東北電力㈱より明るい町づくり推進委員会に入会の要請が来ています。
- ◇桧内ガバナーよりガバナー公式訪問に際しての礼状が届いております。
- ◇先日入会されました坂内康男君、山口龍二君のお二人は親睦委員会に所属して載きます。
- ◇新宿副都心ロータリークラブ認証状伝達式の案内
昭和64年4月5日 新宿ホテルセンチュリー・ハイアット
- ◇ガバナー事務所よりアルメニア地震義捐金として会員1人当たり100円抛出のお願いが来ています。
- ◇下半期の会費納入をお願いします。納入期限は1月10日まで。
- ◇クリスマスパーティーの日にお配りしました週報が大部分残っていますので貰っていない方はお持ち帰り下さい。
- ◇12月現在の100%出席者表及び入会月別会員名表を回しますからご自分の所を確認下さい。
- ◇ロイヤルホテルより歳暮を頂戴しました。
- ◇燕RCより1月の例会予定

- 1月5日 (木) 第1例会 通常例会 戸隠神社おはらい
- 12日 (木) 第2例会 通常例会
- 19日 (木) 第3例会 通常例会
- 26日 (木) 第4例会 夜の例会(新年会)

ニコニコBOX:

梨本清一君 鈴木岳詩君お帰りのさい。今日は、卓話ありがとう。

ことが大きくとりあげられるということは逆に、そういった区別意識はまだ根強くあるのだということを示しているのではないのでしょうか。それは南部のルイジアナ、ニューオリンズだけではないと思います。We have to be sepalated. 私たちは離れてくらす権利がある、というのはとても印象的なことばでした。このように「権利」ということばはとてもよく聞くことばでした。それはよく言われるアメリカは個人主義の国であるということに関係あります。私は学校内にある寮に住んでいました。19、20、21といった若い学生たちが住んでいますのでとてもにぎやかです。私が勉強を終えて部屋にもどり、さて寝ようかとする夜1時、2時にものすごい音で近くの部屋でステレオをかける奴がいます。私の常識からすれば多くの人間がくっついてくらしているのだから、まず遠慮して小さな音でかけるか、どうかするのがふつうと思いますが、これが部屋まで出かけていって、俺は寝たいから少し音を小さくしてくれと言わなければなりません。言えばあすまんと音を下げますが、とにかくまずは自分も好きなように快適に暮らす権利があるということらしく、こちらも静かに休む権利があるということで、お互いの権利をぶつけあって、妥協点を見出すというふうにしてやることが運びます。まずは相手や他人のことを考えてという日本の文化の中で育った私にはけっこうつかれることでもありました。また、個人を大切にすることでは、男女にかかわらず、まずは一個の人間としてということで、男女の平等という考えは日本よりかなり強いものでした。一度文学評論の時間にヘンリック・イブセンの人形の家という戯曲について授業でディスカッションをしたとき、夫や子を捨てて妻であるより母であるより一個人としての自分をみつきたいと家をでていく主人公について、クラスの中で先生、それも女性の先生をも含めて私の意見だけが違うので、大変ああ違うのだなあと感じました。そして、女性はいろんな分野で活躍されています。重要な地位についていたり、バスの運転手や、工事現場の監督者等の肉体労働をしている人をも見たこともあります。それだけ権利や平等を主張するときには、皆さんには根拠があり、日本の男女平等とはちょっと違うのだなあと感じました。先週の週報にもありますように、女人禁制のロータリークラブがカルフォルニアの裁判の判決によって、まずカルフォルニアで女性会員を認めることになり、私が世話になったニューオリンズクラブでもすでに女性会員が入っていました。帰国の時には3〜4人が8人になっていました。しかし、昔からのロータリアンの人は慣れなくて、ああどちらの奥さんかなと思われるそうです。またアメリカの学生は、日本の学生よりよく勉強するとか、より大人であると日本ではよく言われます。たしかに学生の活動はとても活発ですし本人たちも、大学に入るということは大人になることなんだと自覚して口にしています。また学生の活動はとても活発で日本と同様にいろいろなサークル活動があり、他に内外の政治

余裕金・満期金はひとまず

ホーム財テクの主役 中期国債ファンド

新和証券 三条営業所 電話 (0256) 34-2151 (代表)
FAX (0256) 35-5445